

2023年 11月 29日  
SCSK株式会社

## SCSK のデータセンター「netXDC」で GPU/HPC サーバーに対応する 「高負荷ハウジングサービス」を提供開始 ～生成 AI、高速な計算・解析に必要な基盤の最適な運用を実現～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、「netXDC(ネットエクスディーシー)印西キャンパス」および「netXDC 三田キャンパス」において、生成 AI 基盤などに利用される GPU サーバーや高速に計算・解析を行う HPC サーバーなどの高発熱・高排熱サーバーに対応した冷却能力を持つ「リアドア型冷却<sup>※1</sup>」や「コールドプレート型冷却(水冷)<sup>※2</sup>」などを導入することで、お客様に最適な「高負荷ハウジングサービス」を提供します。

フラッグシップセンターとして位置付けている「netXDC 印西キャンパス」および「netXDC 三田キャンパス」では、昨今急増している言語生成や画像生成などの生成 AI を活用したサービスやビジネス需要にも対応した付加価値の高いデータセンターサービスを提供することで、お客様のデジタル化を支援します。

※1 ラックの背面に設置した冷却装置でサーバーが発する高排熱を効率的に除去し冷却する方法

※2 サーバー内に取り付けた冷却プレートに冷媒を循環させて冷却する方法

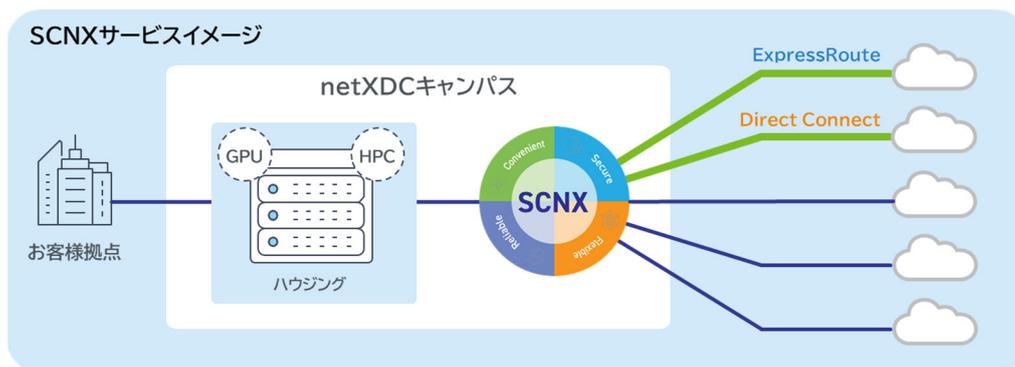


### 「高負荷ハウジングサービス」の特徴

「高負荷ハウジングサービス」では、お客様のご要件に合わせて「リアドア型冷却」や「コールドプレート型冷却(水冷)」などの冷却方式を選択いただくことが可能です。「リアドア型冷却」では最大30kVA/ラックの対応が可能となっており、「コールドプレート型冷却(水冷)」と組み合わせることで、さらに高い冷却能力を提供します。

高負荷ハウジングサービス仕様	
名称	高負荷ハウジングサービス
提供拠点	<netXDC印西キャンパス> netXDC千葉センター(SI1)、千葉第2センター(SI2) <netXDC三田キャンパス> netXDC三田センター(SH1)
冷却方式	・リアドア型冷却 ・コールドプレート型冷却
ラック電力	リアドア型冷却の場合 最大30kVA ※お客様のご要件や冷却方式の組み合わせによって異なります
マネージドサービス	24時間365日の監視・運用サービス

また、SCSK は netXDC 印西キャンパス内にある「ExpressRoute 接続拠点」や「AWS Direct Connect 接続拠点」を活用した、クラウドサービスとの閉域接続サービス「SCNX(エスシーネックス)」を展開しています。「SCNX」を利用することで、「高負荷ハウジングサービス」のラックは各種クラウドサービスとも直接接続が可能となり、お客様のサービスの価値向上・機能強化にも寄与します。



SCSK は 30 年以上データセンター事業者として培ってきたノウハウを活用するとともに時代やトレンドに適応し、お客様のビジネスに最適なサービスを提供します。また、消費電力削減および脱炭素化の取り組みとして、データセンターの省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入など、環境に配慮した取り組みも積極的に行っています。

## 本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

ソリューション事業グループ

netX データセンター事業本部 セキュアコネクトサービス部

E-mail: [netx\\_contact@scsk.jp](mailto:netx_contact@scsk.jp)

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

※ AWS Direct Connect は、米国および/またはその他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

※ ExpressRoute は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。